



# 平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エーアイティー

コード番号 9381 URL <http://www.ait-jp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢倉 英一

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 山本 章功

TEL 06-6205-2612

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	10,401	39.8	828	35.7	858	32.2	513	37.7
22年2月期第3四半期	7,438	—	610	—	649	—	372	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	108.22	107.60
22年2月期第3四半期	15,806.57	15,656.68

(注) 平成22年3月1日を効力発生日として、1:200の株式分割を実施しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	3,305	2,174	65.5	456.14
22年2月期	2,854	1,857	64.8	77,916.40

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 2,164百万円 22年2月期 1,848百万円

(注) 平成22年3月1日を効力発生日として、1:200の株式分割を実施しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	3,000.00	—	3,500.00	6,500.00
23年2月期	—	18.50	—		
23年2月期(予想)				18.50	37.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

(注) 平成22年3月1日を効力発生日として、1:200の株式分割を実施しております。

## 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,522	33.7	909	16.1	937	14.3	567	21.0	119.48

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 4,905,600株 22年2月期 24,528株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 160,141株 22年2月期 800株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 4,745,563株 22年2月期3Q 23,590株

（注）平成22年3月1日を効力発生日として、1:200の株式分割を実施しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、エコポイント等の景気刺激策により、景気は緩やかな回復基調を示してはいるものの、その自律性は乏しく依然として不安定な雇用情勢や所得の先行き不安などから、景気の回復は力強さを欠いたまま推移いたしました。

一方、当社グループが属するフォワーダー業界におきましては、リーマンショック以降、欧米諸国が経済不振から抜け出せない中で、アジアでは中国を牽引役としたASEAN諸国の景気回復スピードが早く、日中間のコンテナ取扱量も2009年度後半から回復基調で推移しております。

このような状況下、当社グループでは、「プレミアム・デリバリーサービス」等の新たな輸送サービスの提供と新規顧客の獲得等の積極的な営業活動を展開した結果、海上輸送での月間コンテナ取扱量は、期初より9カ月連続して10,000TEUを突破するに至りました。また、為替相場の動向に左右されない通関受注の拡大も、収益の押し上げ要因となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は10,401百万円（前年同期比39.8%増）、営業利益828百万円（前年同期比35.7%増）、経常利益858百万円（前年同期比32.2%増）、四半期純利益513百万円（前年同期比37.7%増）といずれも前年同期を上回る結果となりました。

所在地別セグメントの業績は次の通りであります。

#### ①日本

金融危機の影響により貨物量が大幅に落ち込んだ昨年の反動はあるものの、商社系や通販系の大口顧客の貨物量の回復、アパレル・雑貨系顧客を中心に衣料や年末商材の輸入貨物が好調に推移した結果、輸送形態別での取扱貨物量は、海上輸送における取扱コンテナ本数は、輸出入合計101,594TEU（前年同期比41.2%増）と前年通期実績96,867TEUを上回る結果となりました。また、航空貨物輸送では2,534ト（前年同期比56.9%増）、通関受注では23,910件（前年同期比40.5%増）といずれも堅調に推移いたしました。

一方、利益面におきましては、取扱貨物量は当初の想定以上に好調に推移したものの、円高圧力と同業他社との価格競争の影響が利益率を押し下げる要因となりました。

以上の結果、日本における営業収益は9,107百万円（前年同期比37.1%増）、営業利益は711百万円（前年同期比27.8%増）となりました。

#### ②中国・香港

日本向け貨物の回復と中国国内での輸送収益が増加した結果、営業収益は1,263百万円（前年同期比63.4%増）、営業利益は96百万円（前年同期比112.9%増）となりました。

#### ③東南アジア

大手メーカーの日本向け貨物が回復の兆しを見せておりますが、その絶対量が小さいため、営業収益は31百万円（前年同期比43.2%増）、営業利益は3百万円（前年同期比347.0%増）に留まりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ451百万円増加し3,305百万円となりました。これは主に、現金及び預金が278百万円、業容拡大により受取手形及び売掛金が235百万円増加したことによるものであります。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ134百万円増加し1,131百万円となりました。これは主に、買掛金が172百万円、短期借入金が20百万円増加しましたが、未払法人税等が69百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ316百万円増加し2,174百万円となりました。これは主に、剰余金の処分170百万円があった一方で四半期純利益513百万円を計上したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ66百万円減少し、1,273百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内訳は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は354百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を860百万円計上しましたが、法人税等の支払額420百万円等の資金の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は243百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入407百万円、有価証券の償還による収入300百万円等の資金の増加要因に対し、余剰資金の安定運用のための定期預金の預入による支出833百万円及び有価証券の取得による支出101百万円等の資金の減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は149百万円となりました。これは主に、配当金の支払額168百万円の資金の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、引き続き海上輸送の増加と通関受注の拡大を見込んでおり、営業収益及び粗利益は堅調に推移するものと考えております。しかしながら、期末にかけては、中国の旧正月や小売業界の在庫調整等の季節的な変動要因もあり、また、経費面におきましては、次年度を見据えた人材投入、システム改善、営業基盤の整備等の経費を見込んでおることから、平成22年8月31日に発表しました業績予想から変更はしておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更

該当事項はありません。

#### 2. 表示方法の変更

前第3四半期連結累計期間において、区分掲記しておりました「長期未請求債務償却益」は、営業外収益総額の100分の20以下となったため、当第3四半期連結累計期間より営業外収益の「その他」に含めて表示しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「長期未請求債務償却益」は850千円であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,885,791	1,607,215
受取手形及び売掛金	867,570	631,791
有価証券	181,199	299,597
その他	168,882	111,400
貸倒引当金	△6,099	△3,979
流動資産合計	3,097,345	2,646,025
固定資産		
有形固定資産	19,527	21,238
無形固定資産	42,343	40,294
投資その他の資産		
投資有価証券	1,307	—
差入保証金	107,988	110,758
その他	38,896	38,247
貸倒引当金	△1,728	△2,130
投資その他の資産合計	146,464	146,876
固定資産合計	208,335	208,408
資産合計	3,305,680	2,854,434
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	557,568	384,959
短期借入金	40,000	20,000
未払法人税等	188,956	258,119
賞与引当金	27,759	31,523
役員賞与引当金	18,000	25,500
預り金	118,519	122,303
その他	101,935	92,246
流動負債合計	1,052,739	934,652
固定負債		
退職給付引当金	75,555	60,890
その他	3,189	1,641
固定負債合計	78,745	62,532
負債合計	1,131,484	997,184

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	268,698	268,698
資本剰余金	219,148	219,148
利益剰余金	1,805,635	1,462,891
自己株式	△67,875	△67,756
株主資本合計	2,225,605	1,882,981
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64	△35
繰延ヘッジ損益	855	—
為替換算調整勘定	△61,952	△34,145
評価・換算差額等合計	△61,032	△34,181
少数株主持分	9,621	8,449
純資産合計	2,174,195	1,857,249
負債純資産合計	3,305,680	2,854,434



## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業収益		
輸送事業収入	7,273,958	10,076,491
その他事業収入	164,342	325,349
営業収益合計	7,438,301	10,401,841
営業原価		
輸送事業仕入	5,364,955	7,792,346
その他事業仕入	142,041	309,345
営業原価合計	5,506,997	8,101,692
売上総利益	1,931,304	2,300,149
販売費及び一般管理費	1,320,763	1,471,869
営業利益	610,540	828,279
営業外収益		
受取利息	4,828	6,070
為替差益	27,879	21,531
長期未請求債務償却益	2,253	—
その他	4,355	3,629
営業外収益合計	39,316	31,231
営業外費用		
支払利息	210	483
株式交付費	—	30
事務所退去費用	231	76
その他	234	503
営業外費用合計	675	1,092
経常利益	649,182	858,417
特別利益		
固定資産売却益	—	795
賞与引当金戻入額	—	1,644
特別利益合計	—	2,439
税金等調整前四半期純利益	649,182	860,857
法人税、住民税及び事業税	295,324	352,037
法人税等調整額	△19,248	△5,971
法人税等合計	276,076	346,065
少数株主利益	221	1,206
四半期純利益	372,884	513,584

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	649,182	860,857
減価償却費	16,171	15,979
長期前払費用償却額	300	277
株式交付費	—	30
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,201	1,718
賞与引当金の増減額(△は減少)	295	△3,764
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,125	△7,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,162	14,665
受取利息	△4,828	△6,070
支払利息	210	483
為替差損益(△は益)	2,112	1,859
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△719
無形固定資産売却損益(△は益)	—	△75
預り金の増減額(△は減少)	△24,516	△2,283
売上債権の増減額(△は増加)	△253,354	△235,377
仕入債務の増減額(△は減少)	156,522	172,609
その他	24,438	△42,783
<b>小計</b>	<b>572,771</b>	<b>769,904</b>
利息の受取額	4,377	5,653
利息の支払額	△636	△483
法人税等の支払額	△250,153	△420,093
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>326,359</b>	<b>354,981</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△216,605	△833,147
定期預金の払戻による収入	170,000	407,647
有価証券の取得による支出	△299,787	△101,354
有価証券の償還による収入	200,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△2,867	△6,997
有形固定資産の売却による収入	—	1,405
無形固定資産の取得による支出	△5,042	△12,612
無形固定資産の売却による収入	—	2,109
投資有価証券の取得による支出	—	△1,199
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
差入保証金の差入による支出	△15,422	△6,736
差入保証金の回収による収入	20,371	7,786
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△49,353</b>	<b>△243,097</b>

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,000	220,000
短期借入金の返済による支出	△10,000	△200,000
社債の償還による支出	△100,000	—
株式の発行による収入	354	—
自己株式の取得による支出	—	△119
配当金の支払額	△175,084	△168,988
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274,729	△149,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,285	△29,700
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9	△66,924
現金及び現金同等物の期首残高	1,084,800	1,340,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,084,791	1,273,444

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

当社及び連結子会社の事業は、国際貨物輸送事業ならびにこれらの附帯業務及びその他事業であります。しかしながら、全セグメントの営業収益の合計及び営業利益の金額の合計額に占める国際貨物輸送事業ならびにこれらの附帯業務の割合が90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

	日本 (千円)	中国・香港 (千円)	東南アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	6,643,215	773,029	22,055	7,438,301	—	7,438,301
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	21,103	818,809	15,315	855,228	(855,228)	—
計	6,664,319	1,591,838	37,370	8,293,529	(855,228)	7,438,301
営業利益	556,934	45,358	697	602,991	7,549	610,540

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 上記区分のうち、東南アジアに属する国又は地域の内訳は、タイであります。

当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

	日本 (千円)	中国・香港 (千円)	東南アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する 営業収益	9,107,044	1,263,205	31,590	10,401,841	—	10,401,841
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	25,705	961,746	14,132	1,001,584	(1,001,584)	—
計	9,132,750	2,224,952	45,722	11,403,425	(1,001,584)	10,401,841
営業利益	711,726	96,569	3,119	811,416	16,863	828,279

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 上記区分のうち、東南アジアに属する国又は地域の内訳は、タイであります。

## 【海外営業収益】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

	中国・香港	東南アジア	計
I 海外営業収益(千円)	773,029	22,055	795,085
II 連結営業収益(千円)	—	—	7,438,301
III 連結営業収益に占める 海外営業収益の割合(%)	10.4	0.3	10.7

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 上記区分のうち、東南アジアに属する国又は地域の内訳は、タイであります。  
 3. 海外営業収益は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における営業収益であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

	中国・香港	東南アジア	計
I 海外営業収益(千円)	1,263,205	31,590	1,294,796
II 連結営業収益(千円)	—	—	10,401,841
III 連結営業収益に占める 海外営業収益の割合(%)	12.1	0.3	12.4

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 上記区分のうち、東南アジアに属する国又は地域の内訳は、タイであります。  
 3. 海外営業収益は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における営業収益であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。